

新型コロナウイルス感染症対策の取り組みについて

寺岡記念病院では、ご来院いただく患者の皆様安心して受診していただくため、また、入院中の患者の皆様安心して療養していただくために様々な感染予防策を実施してきました。この度、院内感染防止対策を見直すとともに、さらなる徹底を図るため、職員全員が感染対策に関する知識・技術を習得すると共に、環境整備等について取り組みを強化していきます。



手指消毒の徹底



ご来院される方には、院内の入口、待合ホール、診察室前等、院内各所に手指消毒液を設置し、手指消毒のご協力をお願いしています。職員も、1行為1手指消毒の徹底をしています。



職員の体調管理・定期的な検査について



全職員、出勤前、出勤後の検温と体調確認を行い、記録と報告を行っています。少しでも体調がおかしい場合は、勤務をしないように徹底します。また、全職員を対象に、定期的に新型コロナウイルス核酸検出検査(LAMP法)の検査を実施しています。



来院時の検温・体調確認について



ご来院される方全員に、正面玄関入り口で体温測定と、健康状態の確認を実施しています。

発熱や症状がある方は、専用の待合に誘導させていただき、他の患者さんと接触しないようにしています。



職員の防護具について



外来・病棟に従事する職員は、医療用マスク、フェイスシールドを着用して業務を行います。また、適宜グローブやガウン、キャップを着用するようにします。患者さん対応前後での手指消毒を徹底します。また、防護具の着脱について、日常的な訓練と手順の確認を行います。安全かつ十分な感染対策ができるよう病院として必要な物品の確保に努めます。

入院前・後の検査について



入院される患者さん全員に、入院前に新型コロナウイルス核酸検出検査（LAMP法）の検査を実施し、陰性を確認して入院していただいています。入院後3日目も検査を実施し、再確認を行います。その他、疑わしい症状がある場合は、随時検査を実施します。

院内の環境整備について



滅菌装置

人体に無害な紫外線滅菌装置を待合ホールに設置し、また、室内空気汚染の浄化が行えるクリーンパーテーションを導入しました。定期的に、全館窓を開けて、換気を行います。また、院内の換気システムの見直しと強化を実施します。

クリーンパーテーション



飛沫感染防止のため、受付カウンター、診察室、ベッド間に、ビニールカーテンやアクリルボードを設置します



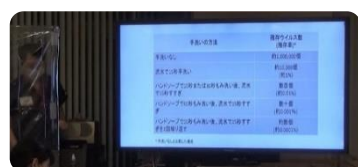
さらに、病院全館、全職員で定期的に消毒作業を実施しています。待合ホール、診察室ドアノブや手すりなどは、定期的に消毒を行っています。ペン・パソコンなどの共有物は使用の都度、消毒を徹底して行います。

職員の知識・意識向上について



感染管理認定看護師による、全職員対象の知識テストや勉強会を行い、職員の感染対策意識向上に努めています。普段から各病棟のゾーニングと、陽性患者発生時の初動（隔離・消毒・情報共有）を確認し、院内感染の発生に備えます。

専門機関及び行政との連携



広島県感染症・疾病管理センター（ひろしまCDC）や行政機関と情報交換を密に行い、連携体制を構築し、新型コロナウイルス関連について、ご指導を仰ぎます。

また、専門医療チームとも連携を取り、ゾーニングや防護具の装着、感染予防の講義等実施していただき、感染に対する知識の向上に努めます。



専門機関及び行政との連携



新型コロナウイルス感染症に関する部署を設置し、指揮系統を明確化し、情報を一元化することで迅速に対応できるようにしました。その他、医療関係者の感染予防策を徹底することに加え、専門機関や保健所との連携体制を構築、全職員の教育（標準予防策、感染経路別予防策など）を徹底していきます。

未だ、新型コロナウイルス感染症との闘いは終わりませんが、今後も、より厳重な感染対策を講じ、安心安全な医療を継続して提供し、地域の皆様に安心して受診していただけるよう、全職員が一丸となって取り組んで参ります。

寺岡記念病院
病院長